

## 編集後記

今年度広報第3号をお届けします。

本学計算機センターの利用動向としては、図形処理の傾向が日々増大しているようです。図形処理にも様々な利用があり、最も多いのは2次元座標のグラフや等高線を描くことですが、3次元の立体をいろいろな角度から見た場合の図形出力など、高度な使い方も見られるようです。

本号は、このような利用動向を反映して、ほんの一端ではありますが図形処理関係の研究や、ソフトウェアを紹介してあります。

図形処理の利用は、研究、教育両面でこれからもさらに発展して行くと思われまふ。計算機センターでも、図形画像処理研究開発委員会が発足し、グラフィック・ディスプレイ装置の充実や、今後の図形処理利用のあり方について討議を進めております。

広報委員会でも、利用者の便宜のため、いずれさらに充実した図形処理のための特集号を発行する予定です。

本号は、前号に続いて日本語ラインプリンタ出力された原稿をオフセット印刷したものです。日本語入力については計算機センターの方々に多大な御苦勞を賜りました。ここに深謝する次第です。

なお、来年度広報第1号を6月頃発行する予定です。下記要領にて奮って御投稿をお願い申し上げます。  
(K. T.)



### 計算機センター広報原稿募集

1. 広報Vol. 7, No. 1 (6月発行予定)の原稿を募集しています。
  - a. コンピュータに関係のある随想、論説 (1~4ページ程度)
  - b. コンピュータを利用した研究ないしは事例紹介 (4~12ページ程度)
  - c. コンピュータのシステム、ハードウェア、ソフトウェア等の解説 (2~10ページ程度)
  - d. コンピュータに関する情報、アイデア、ユーザの声などI/Oチャンネルの原稿 (1ページ以内)
  - e. その他
2. 細かい投稿規定はまだ定めていませんので、今回は、関連学会の規定等に準拠して下さい。
3. 投稿資格は特に定めてありませんが、計算機センターの利用資格のない方が投稿されるときは、広報小委員会に御相談下さい。
4. 原稿の採否は広報小委員会に御一任下さい。
5. 原稿提出先、各キャンパスの広報小委員会にお渡し下さい。
6. 原稿〆切 昭和58年4月30日(土)